

テーマ別検討会議 作戦会議① 論点整理ペーパー ～自然環境～

1 みんなの想い集から

「長久手の自然は財産」。まちと自然がバランス良く共存しているところを長久手の魅力だと感じている人が多く、後世に受け継いでいく必要があるとの意見が多く挙げられています。

	現 状	将 来
魅力	<ul style="list-style-type: none"> 多くの自然が残されており、財産となっている まちと自然が共存している 	<ul style="list-style-type: none"> 今以上に自然を大切に作る心を育み、今の自然を、長久手市の財産として、後世にも残していく
課題	<ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄地の増加や獣害 農業の後継者や里山文化の継承等、次世代に豊かな自然を残す 	

⇒キーワード：みどり、里山、農業、自然環境、水辺環境、低炭素社会、景観

2 第1回テーマ別検討会議から

① 個人ワークで出されたシーン

- みんなで川原でバーベキュー ●森の中の男のかくれ家
- 人任せの緑ではなく、私の緑 ●近所の方と物々交換
- 静かな森の中に住む ●お花いっぱいのもち
- みどりや生き物たくさん！夏でも涼しい香流川
- 季節の花に子ども達が詳しくなれる芝生とお花いっぱいの公園を増やしたい ●カワセミのいる香流川

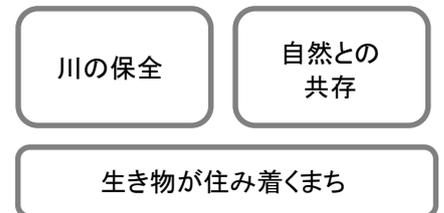
象徴的なキーワード(含まれる要素)



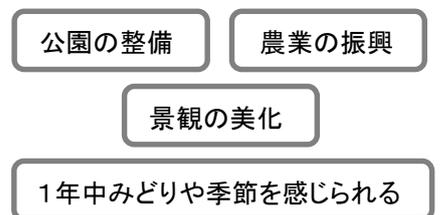
② グループワークで出されたシーン

タイトル:カワセミのとぶ かなれがわ
 説明:カワセミは川や池の土手に穴を掘って繁殖します。そして、大切なのはエサ。つまり、コンクリートで固めた川や汚れた廃水が流れ込む川では生きていけません。カワセミが住むようになれば、自然が再生します。

象徴的なキーワード(含まれる要素)



タイトル:川も畑も公園も、みどりあふれる長久手市
 説明:春はお花がたっぷりの芝生の公園、夏は川の生き物をみながら木陰の下を散歩。秋はたくさんの野菜を畑で収穫、1年中みどりや季節を感じられる長久手市になったらいいなあ。



3 「基本目標」をつくる上での視点

① みどりの“量”の向上

- 身近なみどり ⇒⇒「共存」 ●自然と触れ合える環境の整備 ⇒⇒「ふれあい」

② みどりの“質”の向上

- 次世代への自然の継承と保全 ⇒⇒「継承」

追加の視点

- 低炭素社会・循環型社会の形成 ●景観の整備 ●担い手の育成